

各位

愛知県名古屋市中区上飯田西町3-60

アサダ株式会社

世界初、低温（-30℃）型「赤外線式リークディテクタ LD316C」を新発売

配管機械・工具と環境機器の製造販売及び輸出入をおこなうアサダ株式会社(本社:名古屋市中区、代表取締役社長:浅田吉、資本金 221 百万円)は、世界初となる-30℃の環境下で使用可能な高性能フロンガス漏えい検知器「赤外線式リークディテクタ LD316C」を新発売した。冷凍倉庫や寒冷地のエアコン室外機に対してフロン漏えい検知が可能になった。

■ 背景

稼働中のエアコン、冷凍庫などの冷凍空調機器からの温室効果ガスであるフロン類の漏えいが大きな問題になっている。2015年に施行された「フロン排出抑制法」において、ある一定規模以上の機器に対し、フロン漏えいに対する定期点検が義務付けられた。漏えい点検の一つがリークディテクタという検知機を使用するもので、とりわけ年間5g以下のフロンの漏れを検知できるものが推奨されている。

しかし、従来のリークディテクタは-30℃の低温域に対応しておらず、最も多い-30~-20℃の冷凍倉庫や、北海道、東北の寒冷地ではフロンの漏えい検知が困難であった。特に冷凍倉庫は食品を扱う場合が多く、冷凍機の故障は保管している商品に致命的なダメージを与えるため、迅速な修理が必要になる。

このニーズを受け、世界初-30℃でも使用できる赤外線センサーを搭載した低温型「赤外線式リークディテクタ LD316C」を開発した。高感度で年間漏えい量3gの漏れまでも検知可能なこの機種は、従来のフロンHFCに加え、新冷媒であるHFOも検知可能。迅速に漏れを検知できる多様な機能を備えているため、厳しい環境下で作業を行う技術者を助けることに繋がる。

■ 特長

1. 世界初、低温対応赤外線式センサー
-30℃~50℃の環境に対応した、高感度赤外線式センサーを採用。冷凍倉庫や寒冷地での作業が可能に。
2. 長寿命内蔵リチウムイオン電池
低温環境化での電池寿命が大幅に増加。-30℃で連続使用時間2時間を達成。
乾電池の場合、低温環境化では電池寿命が短くなっていたが、低温下でも長時間、繰り返し充電して使用できるリチウムイオン電池を搭載。環境にやさしい設計に。
3. 高性能自動探査機能
漏えい検知感度の切替を実際の漏えい量により、自動で設定可能。素早く漏れ箇所を特定。
4. マグネット付ストラップ標準付属
作業中断時、冷凍倉庫内の商品の上や、雪の上に機械を置かず、壁や室外機に機器の取り付けが可能。商品を破損や、リークディテクタの故障を防ぐ。
5. 様々な漏えいに合わせた機能を搭載
冷媒漏れレベルが目で見える段階インジケータ、アラーム音が気になる場所での消音機能、連続操作を可能にしたオートパワーオフ解除機能、暗い場所でも使用できるLED搭載。

■ 仕様

品名	リークディテクタ LD316C
コード No.	LD316C
感度	High 4g/年、Medium 7g/年、Low 14g/年 CM 3g/年
対応冷媒	R410A・R32・R407C・R404A・R134a・R22・R502・R1234yfなどのフロン
使用温度範囲	-30～50℃
保管温度範囲	-30～60℃
電池寿命	- 30℃～-20℃：連続使用時間 2 時間 スタンバイモード 4 時間 - 19～0℃：連続使用時間 6～8 時間 0～50℃：連続使用時間 15 時間
検知方式	赤外線センサー式
電源	充電式リチウム電池
反応時間	1 秒以下
ウォームアップ時間	約 30 秒
その他機能	消音機能、9 段階 LED 表示、LED ライト、ピークホールド、自動感度切替、オートパワーON-OFF 切替、CM モード
質量/寸法	495g/ 95×48×190mm
標準付属品	ケース、リークディテクタカバー、AC アダプタ、リークチェックボトル、予備フィルタ（黒）5 ヶ、予備フィルタ（白）5 ヶ、マグネットストラップ、検査成績書、取扱説明書
標準価格（税抜）	78,000 円



■ 当社紹介

社名 アサダ株式会社 (ASADA CORPORATION)
 代表者 代表取締役社長 浅田 吉
 本社所在地 名古屋市北区上飯田西町 3-60
 事業内容 配管機械・工具、環境機器などの開発・製造・販売及び輸出入

■ 本件に関するお問合せ先

報道関係のお問合せ先

アサダ株式会社 経営企画室 大森 TEL (052) 914-1209

お客様のお問合せ先

アサダ株式会社 本社営業本部 TEL (052) 911-7165

支店・営業所他 <http://www.asada.co.jp/profile/shop.html>